



令和元年度町田市町内会・自治会連合会 市政懇談会（11月22日）報告

町田市からは石阪市長はじめ、各部署の部長及び担当部長が出席。事前の要望に対する市の回答の要旨は次のとおりです。

1 通学路の安全対策について

教育委員会では町田市立小学校の通学路安全点検を各校2年に一回、関係機関と合同で交通量や人の流れや通学路の現状を確認し、対策案を決定している。

決定した対策案は各機関において優先的に実施され、ガードレール・車乗入れ防止柱設置・坂道交差点などの滑り止め舗装の実施、また区画線や注意看板等の設置を行なっている。

各学校では児童に交通安全指導を日常的に行っている。今後も関係機関と連携をとりながら、児童が交通事故に巻き込まれないよう、教育委員会では努力を重ねていく。



2 空き家対策について

2015年12月に町田市空き家等の発生の予防、適切な管理及び活用促進に関する条例を策定した。

2016年6月には空き家ゼロ計画を策定し、2016年度から2020年度までの5年間の取組として空き家対策を推進している。

最も重要なことは、空き家を不動産流通に乗せる取組と考え、所有者からの依頼に基づき、不動産団体に協力してもらい売却・賃貸などの不動産流通に関する提案書策定を依頼している。

2018年度は5件の空き家所有者に提案書を策定した。このほか諸問題を解決するために、弁護士・税理士、宅地建物取引士による無料相談窓口を月二回実施している。2018年度には18件の相談を受けた。

周辺へ悪影響を及ぼす管理不全の空き家についても重要と考え、所有者にリーフレットを配布している。

3 地区協議会の現状と今後について

地区の特性と資源を生かし、防犯・防災活動、地域の活性化等に様々な団体が活動している。しかし、運営にあたり考えの違いによる議論を重ねているという事例もある。

町田市では、今後も地域応援コーディネーターを中心に地区の実情に合わせた支援を続けていく。

「協働による地域社会づくり推進計画」については現在、縦割り解消に取り組むとともに横の繋がりの強化をしている。



4 境川の洪水対策について

東京都は東京都南多摩建設事務所にて、根岸橋から鶴瀬橋までの管理区間で金森調節池の整備を現在進めている。

境川の整備については、今後も町田市から神奈川県に直接要望していく考えである。

第二部 市政全般に関し市長からの報告

- ・今年台風等による地域の災害状況
- ・グランベリーパーク 11/13 オープン
- ・鶴川駅周辺の再開発決定
- ・多摩都市モノレールの用地取得等
- ・小田急多摩線延長
- ・野津田公園スタジアム J1 ライセンス取得
- ・菓師池の農産物等の商業施設工事中 4月オープン
- ・芹が谷公園 都営住宅跡地工事中、国際工芸美術館建設予定
- ・町田第一中学校新校舎 令和3年9月完成予定
- ・市立小学校中学校の体育館にエアコン設置予定
- ・保育所持機児童 令和3年に0目標

---等々---

各要望に真摯な回答がなされ、また提案型の要望及び質疑応答もあり有意義な意見交換会でした。

(編集委員：飯田 高信)

第21回ふれあい祭り開催について

(小山・小山ヶ丘地区)

(前段)

第21回町有ゼロワンふれあい祭りが2019年9月15日、町田市小山ヶ丘にある町田市立小山白山公園で開催されました。このふれあい祭りについての歴史と今回の運営・開催状況、イベントなどを紹介致します。

(歴史)

第1回のふれあい祭りは、二区町内会からの独立を記念して町有町内会が1999年に開催しました。その後、2001年完成のゼロワンシティ・ウエスタ(以下ゼロワン)が町有町内会に加入し、ふれあい祭りにも参加することとなりました。現在の世帯数は、町有町内会が138世帯、ゼロワン自治会が159世帯ありますので、小さいながら約倍の規模となりました。2008年にゼロワンは町有町内会より分離した自治会となりましたが、ふれあい祭りについては、その後も共催として行われ地域交流を更に深めて参りました。

(運営・開催状況)

今回のふれあい祭り開催については、東京都の「地域の底力発展事業」として申請を行っており7月に認可され助成金が交付されました。特にこの申請には、2020東京オリンピックの自転車ロードレースのコースが多摩ニュータウン通りとなることもあり、地元の気運醸成活動として横断幕・小旗を作成し、(写真下)広報活動を行いました。



また並行して4月～9月に渡り計5回の合同打合せを行い、市役所・保健所・消防署等への申請から、実施するイベント・会場レイアウト・当日のタイムテーブル・機材配送計画等の立案、話し合が行われ、詳細が決まりました。特に留意したことは、天候不順による中止・順延も考慮して、取消可能業者の選定と交渉でした。3日前迄の天気予報では雨の予報で、ヒヤヒヤでした。

また応援スタッフの確保にも苦労がありました。開催も21回目となると中堅スタッフの高齢化もあり、人数確保は厳しい状況でした。今回は特に小中学生が応援ス

タッフへの多数参加もありました。

熱中症対策も気になりましたが、どうにか人員も確保出来、今後の運営にも若い人達の参加も期待でき楽しみとなりました。

(イベント等の紹介)

子供用ゲームは、輪投げ・バスケット・ストライクボード・サッカーナイン・ダルマ落とし・射的の6種類(写真下)を用意しました。



サレジオ高専の協力によるロードレースに因んだ缶バッチ(写真下)の製作コーナー、健康づくり推進委員会による健康チェック、FC町田ゼルビアのサッカーイベント(写真下)等の外部の協力による催し物も用意致しました。飲食については、定番の焼きそば・フランクフルト・焼き鳥・かき氷・冷たい飲み物を用意し提供しました。



町田市消防団第五分団第2部や各方面の方々の協力をいただき、ゴミについては町田エコライフ推進公社の協力をいただきました。

(まとめ)

今回のふれあい祭りは、10時～15時の開催で行われ、計446名の参加となりました。天候にも恵まれ各イベントでは歓声も上がり、大人の参加もあるパン食い競争や全員参加のビンゴゲームでは大いに盛り上がり、無事に事故も無く終了しました。

最後に、各方面の関係者の皆様ありがとうございました。応援スタッフの皆様本当にお疲れ様でした。

(編集委員：山口 達雄)